



## 新潟県作業療法士会ニュース

# 朱 鷺

No. 25

## 令和6年度 公益社団法人 新潟県作業療法士会

## 第16回功労者表彰

令和6年6月16日に燕三条リサーチコアで開催された令和6年度定期総会の会場で第16回功労者表彰の授賞式が行われました。受賞された佐藤律子氏から会員の皆様にメッセージを頂戴しましたのでご略歴と一緒にご紹介いたします。



佐藤律子氏

(合同会社すいみー)

- S62年 3月 国立療養所犀潟病院附属リハビリテーション学院卒業
- H15年 9月 放送大学卒業
- H19年 3月 新潟医療福祉大学大学院修士課程修了
- S62年 4月 岩室温泉病院（現 岩室リハビリテーション病院）入職
- H2年 1月 新潟こばり病院  
（現 新潟県厚生農業協同組合連合会 新潟医療センター）入職
- H2年12月 とやの中央病院入職
- H10年11月 新潟リハビリテーション専門学校  
（現 新潟リハビリテーション大学）入職
- H15年 2月 新潟リハビリテーション病院入職
- H21年 7月 晴陵リハビリテーション学院入職
- R5年 8月 合同会社りんくるー入職
- R6年 5月 合同会社すいみー入職（現職）

この度は身に余る賞をいただき、関係各位の皆様にご心より御礼申し上げます。

今日まで作業療法に携わることができたのは、多くの皆様のおかげからであり、中でも諸先輩方の存在が大きいと感じています。新卒当初を振り返ると、職場には先輩OTは不在でしたが、周辺の先輩方が声をかけて下さり、様々な場面で助けていただきました。そのおかげで多くの方とつながり、県士会や協会の活動に自分事として参加し続けることができたと思っております。

現在の職場もスタッフに恵まれ、利用者の子どものたちとの関わりを通して、学びあり発見ありの日々を経験できることに感謝しています。今後も微力ながら作業療法の一端を担えるよう努力してまいります。

## 令和6年度診療・介護報酬改定説明会に参加して

保険委員会 内山 一 真

令和6年3月16日オンラインで上田貴代氏（厚生労働省老健局老人福祉課高齢リハビリテーション推進官）を講師とした、令和6年度介護報酬改定説明会に参加し、3月19日松木田暁氏（厚生労働省保険局医療課）を講師とした、令和6年度診療報酬改定説明会に参加した。以下に報告させていただく。

今回診療・介護報酬ともにプラス改定となっており、リハビリ職を含む医療・介護関係職種の賃上げ用に基本報酬がベースアップされている部分が多い。実際に施設によってどの程度給与に反映されていくか経過を追っていく必要がある。医療・介護連携推進について、退院後リハ開始までの期間が短いほど機能回復が大きいという傾向があり、医療から介護へスムーズに移行できるよう施策が講じられている。医療から介護保険リハへ移行する場合、退院前カンファレンスに移行先事業所からリハ職員等の参加が望ましいと明記され、介護報酬では加算が新設されている。また、移行先事業所へのリハビリ計画書提出が義務化されている。診療・介護報酬ともに、リハビリ、栄養、口腔の連携推進のため、計画書が見直され、様々な加算が新設されている。医療・障がい福祉サービスの連携推進としては、医療保険施設で自立訓練を提供する際の施設基準が緩和されている。

診療報酬について、地域包括医療病棟入院料が新設されている。背景として、高齢者の救急搬送が増加し、その中でも軽症・中等症が増加していることや、誤嚥性肺炎、尿路感染といった疾患が多く、高度急性期を担う病院では医療投入量がミスマッチとなる等といったことがある。回復期病棟において、定期的なFIM測定や、FIM研修会の開催が要件に含まれている。運動器リハは1日6単位を超えてもADLの明らかな改善がみられなかったため、上限が6単位となっている。体制強化加算についてはADL改善がみられなかったため、廃止となっている。地域包括ケア病棟入院料について、入院日数が40日以内は点数が上がっているが、41日以降は下げられている。慢性期医療について、入院料27で1日2単位を超える疾患別リハ料が包括範囲に含まれている。疾患別リハ料について、リハビリを実施した職種ごとの区分が創設されており、今後データを集積していく中で職種ごとに差をつけられる可能性がある。

介護報酬について、介護予防通所・訪問リハでは利用開始から12月を経過した場合の減算が拡大されている。長期化しているリハビリを是正するための措置ではあるが、機能維持のために意味があるといった意見も聞かれ、要件を満たした場合は減算されないこととなっている。令和4年度老健事業において、訪問による認知症リハ介入の効果検証を行い、介入群ではIADLを含む指標で改善傾向を認めた。認知症リハを推進していく観点から、訪問リハにおいて認知症初期集中リハビリテーション実施加算が新設された。訪問リハにおいて、認知症リハに対するOTの活躍が期待されている。

今回プラス改定となっているが、効果が認められないものは減算又は廃止とされている部分も多い。以前と同じ対応だと報酬が下がる施設も出てくると考えられる。LIFEは新システムに移行する予定で、医療・介護ともにデータが重要視され、リハビリの成果も今まで以上に求められるという印象を受けた。

## ペットボトルオープナーの紹介

悠遊健康村病院 作業療法士 皆川 悠子

今回は、片手でペットボトルの蓋を開閉できる“ペットボトルオープナー”を紹介したいと思います。  
高齢や病気・ケガなどによりペットボトルの蓋の開閉が困難となり、誰かへ依頼する必要や試行錯誤して開けてみるものの時間を要する上、失敗して中身をこぼしてしまう方を拝見することがありました。今回紹介するペットボトルオープナーは、片麻痺の方や握力の低い方が片手でも開閉できるように設計されている製品になります。現在は様々な製品があり、大きく分けて3種類のタイプがあるようです。かぶせるタイプ・てこの原理を利用したタイプ・自動タイプとそれぞれ使用者や用途に合わせ選択ができるようになっています。

- ① かぶせるタイプ：蓋に被せて回すだけの単純な使い方のため、初めて使う人でも難しい説明を必要としない
- ② てこタイプ：より軽い力で蓋の開閉が可能
- ③ 電動タイプ：電動のため握力を使わずに蓋の開閉が可能

<実際の製品>



かぶせるタイプ

上記以外にも平面な場所に貼り付け固定できる吸盤付きの製品等もあります。  
以前できていた動作がスムーズにできなくなり、生活にストレスを感じている方もいらっしゃるかと思います。自助具を通し皆様の生活が少しでも豊かになるようその方に合ったものを選択していただけたらと思います。

今回紹介させていただいた自助具は私自身の見解が含まれています。使用者の身体機能面や環境面など様々な要素を踏まえ、担当作業療法士と相談や動作訓練する際のひとつの考えとして参考にして頂ければ幸いです。

## 令和6年度 第1回理事会

日時：令和6年4月13日（土） 14：15～17：00

会場：新潟県作業療法士会事務局

参加者：【会場】 四方、山倉、嶋倉、山中、吉井

【Web】 石井、村山、小山、尾崎、青柳、  
伊東、齋藤、佐藤、渋谷、藤本、  
松岡、水越（監事）、横田（監事）

欠席者： 門脇、北上

### 【報告事項】

#### 1) 会長報告

- ・ 3/8 晴陵リハ学院の卒業式に出席。全国的にOT志望者数減少傾向。
- ・ 3/9 第4回よんばち会議に出席。能登半島沖地震の報告とトリプル改定についてOTの必要性について述べられていた。
- ・ 3/11 新潟ユニゾンプラザ申請における会長会議に出席。新潟刑務所支援事前会議に出席。
- ・ 3/13 リハ協議会のST聞こえの支援派遣振り返り報告会に傍聴参加。
- ・ 3/19 新潟医療福祉大学卒業式の出席。
- ・ 3/26 第6回刑務所支援に嶋倉理事、齋藤理事とともに出席した。
- ・ 4/1 晴陵リハ学院入学式出席・祝辞
- ・ 4/5 新潟リハ大学入学式出席・祝辞
- ・ 4/6 リハ協議会の令和6年度県委託事業。235万円の契約締結について合意。
- ・ 4/11 第1回定例会議
- ・ 新潟市で通所Cの委託を受けている日本メルツからの専門職の派遣依頼については派遣費用と開催回数の多さPT士会にも協力を求めた。

#### 2) 理事報告

##### 生涯教育委員会（佐藤理事）

- ・ 昨年度のポイント付与作業を全て完了した。

##### 在宅ケアを考える会（小山理事）

- ・ 4/7 第1回実行委員会にWeb参加をした。

##### スキルアップ研修委員会（石井副会長）

- ・ 2/17 スキルアップ研修会開催。ハイブリッド形式で実施も30名中24名が会場参加で実技の重要性が見て取られた。

- ・ 教育部の活動としてキャリアラダーを作成中。

##### ICTサポート委員会（渋谷理事）

- ・ 事業計画に沿って活動。Zoom契約更新。

##### 移動支援対策委員会（村山副会長）

- ・ 移動支援に関する研修会を行った。

##### ブロック内事業（村山副会長）

- ・ 各支部で研修会を開催した。ブロック毎で参加者に差がある。

##### 臨床実習推進委員会（藤本理事）

- ・ 9/14、9/15に臨床実習指導者講習会を実施予定。案内をホームページに掲載した。

##### 広報部（尾崎理事）

- ・ 「朱鷺」の発行とLINE配信を実施。
- ・ 4/12 新潟建築士会の新潟福祉のまちづくり研究会の会合に出席。
- ・ 新潟福祉機器展では伊東理事より協力を頂く。

##### 現職者選択研修委員会（青柳理事）

- ・ 現職者選択研修では身障分野の研修会を予定。

##### 学術誌編集委員（青柳理事）

- ・ 論文の書き方について新潟医療福祉大学の能村先生へ講師を依頼した。

##### 保険委員会（松岡理事）

- ・ 3/16 介護報酬、3/19 診療報酬の説明会に出席。ホームページに報告を掲載予定。

##### 公開講座実行委員会（松岡理事）

- ・ 11/9（土）午前中に新潟ユニゾンプラザ大会議室にてハイブリッド開催予定。講師選定中。

##### 地域共生社会推進委員会（松岡理事）

- ・ 茶の間の新潟市担当者が今年度交代予定。担当者変更後、東区にて顔合わせを行う予定。

##### 災害対策委員会（齋藤理事）

- ・ 能登半島沖地震のJRAT活動報告。派遣は4月中旬で実働は終了し、4月末で撤収予定。

##### 特別支援教育委員会（伊東理事）

- ・ 2/28 研修会をもって昨年度の事業終了。
- ・ 今年度はモデル事業として1校に4回派遣予定。モデル校は新潟市立東特別支援学校に決定。

##### 選挙管理委員会（山中理事）

- ・ 理事監事の立候補者へ必要書類の提出を促す。

##### 総会議事運営委員会（山中理事）

- ・ 5月中旬、会員へ総会開催の案内と議案書を配布予

定。委任状の提出を啓発する。

#### リハ協議会(山中理事)

- ・事務局機能がPT事務局からOT事務局へ移管し、県に事業報告書を提出した。第3回POS合同学術大会はST士会主幹で2025年12月20日(土)、21日(日)に開催予定。

#### 新潟刑務所ケアプログラム(嶋倉理事)

- ・3/11 派遣者会議、3/26 新潟刑務所派遣。評価内容に握力計測を追加。
- ・五泉中央病院の井上氏を委員として増員。

#### 表彰委員会(山倉理事)

- ・功勞表彰者1名予定で表彰準備を進めている。

#### 倫理委員会(山倉理事)

- ・12月県学会にて会員向けの研修会を予定。

#### 規約委員会(山倉理事)

- ・事務局内で定款や規定の変更を行っていく。

#### 学会運営委員会(門脇理事(吉井理事代読))

- ・第19回県学会は学会長が上杉文都先生に決定。演題提出用の抄録作成の支援動画を作成中。

#### 障害福祉対策委員会(北上理事(吉井理事代読))

- ・今年度の委員長が未定で、会長と相談中。

#### 3) 事務局報告(吉井事務局長)

- ・文書の発送、メール対応等を行った。
- ・後援依頼は規程に従い3件承諾。

#### 4) 財務報告(吉井財務部長)

- ・令和5年度の支払全てが完了。合計70万ほど前年度の繰越金を使用。流用作業について、公益事業で学会運営委員会3万円、広報委員会1万円を流用した。法人会計では事務局で定期便配送に関して12万9千円、理事監事では新潟刑務所の謝礼の金額、バリアフリーフィルムパートナーズの広報活動に6万円を流用した。

#### 5) 監事監査報告

(横田監事より) ➡公益社団法人として必要な要件は満たしていた。予算の使用方法については見直しが必要ではないかと考える。

(水越監事より) ➡公益社団法人としての要件、①公益事業の支出の割合、②収益が若干の赤字は満たしていた。内部留保も問題なかった。

#### 【協議事項】

#### 第1号議案 会員管理について(入会・退会・休会・復会)(吉井事務局長より)

正会員1037名(内、休会28名)

⇒承認

➡令和5年度から緩やかに会員数が減少傾向。

#### 第2号議案 令和5年度 事業報告および決算報告について

##### 事業報告

郵送費の高騰によりペーパーレスを進めるため公式LINEやホームページ、メール配信などで広報活動を予定している。

##### 決算報告

(貸借対照表)現金預金2,885,045円。未収会費は令和4・5年度分7名、令和5年度分23名、合計30名分で300,000円分である。前払費用は今年度の学会会場費用を令和5年度中に支払いを行った。固定資産の什器備品67,064円、資産合計が3,459,189円。負債の部では、未払金3件37,757円。前受会費170,000円。預り金は7,627円負債合計215,384円。正味財産合計となり3,243,805円。当期純損益金額は-960,235円。

(正味財産増減計算書内訳表)

公益法人として以下の3点より「収支相償満たした」と言える。

- ①公益目的事業費の当期計上増減額は、赤字
- ②現金預金残高より公益目的事業の事業費総額が上回ったこと
- ③収益の50%以上を公益目的事業で支出していること(81.4%)

(正味財産増減計算書)

・前年度と比較し大きく差額が生じているものについて確認する。

(財産目録)報告書参照。

(収支計算書)予算と決算の差異であり、予算の不足したところは流用手続きを完了した。

⇒承認

#### 第3号議案 新潟県作業療法士会 定款・規程改定について

##### 定款

学生会員に関して第5条および第7条を改定。

総会について第16条に「総会参考書類等の内容である

情報について、電子的措置をとる」と追加、それ以降の条数を変更。

第20条に「電磁的方法」を追加となっており総会の委任状の電子化を図る。

附則に令和6年6月16日改定が追加となった。

会費納入規程

(4) 学生会員の規程が追加、附則の日付追加。

役員の報酬等及び費用に関する規程

条数の変更と附則の日付が追加。

⇒ 承認

第4号議案 新潟県作業療法士会 学生会員規程(新規程)について

第2条は定款に合わせ文章を改定した。

第7条(4)に「学生会員を対象とする」と追加。

第8条では学生会員の退会規程について、任意退会と自動退会について追加となる。

⇒ 承認

第5号議案 令和6年度 委員長及びブロック長の選任について

各委員会の委員長25名、選挙管理委員会委員2名、ブロック長7名について、

⇒ 承認  
以上

(公社)新潟県作業療法士会  
令和6年度定期総会議事録

日 時：令和6年6月16日(日) 10:31~12:09

場 所：燕三条地場産業振興センター 研修室④

出席した理事：四方、石井、門脇、村山、尾崎、小山、山倉、吉井、青柳、齋藤、渋谷、嶋倉、松岡、山中、藤本(Web)

出席した監事：水越(Web)、横田(Web)

**1. 議事の経過**

- ・ 令和6年6月16日10時31分、総会議事運営委員長 佐藤修司氏が開会宣言、議事進行は同じく総会議事運営委員長 佐藤氏が行うこととした。
- ・ 議長選出の経緯  
議長の選任方法について諮ったところ、総会議事運営委員会が推薦することとなり、議長に介護老人保健施設三川しんあい園の四方秀人氏を選任し

た。

・ 議長挨拶

議長の四方氏より能登半島沖地震で被害のあった方への哀悼の意を伝えられた後、挨拶が行われた。

・ 定足数報告

佐藤氏から定足数を報告、社員(会員)総数1009名の内、出席会員数856名(内出席者数47名、委任状出席809名)であり、総会は定足数を満たし成立した事が告げられた。

・ 議事録署名人の任命

議事録署名人の選出について選任方法を諮ったところ、議長選任と同じく総会議事運営委員会推薦となった。できじま訪問看護ステーション山倉宏美氏及び、介護老人保健施設三川しんあい園 山中智恵氏を選任した。

**2. 報告事項**

令和6年度事業計画

- ・ 会長四方氏より令和6年度事業計画について一括報告があり、議案書に沿って説明がなされた。今年度は①学術的発展へ向けWEBを有効活用し、会員の学術的取り組みへ支援を行う、②作業療法の有効活用へ向け引き続き派遣事業を進め産業・就労・障害分野での対応を強化する、③作業療法の普及へ向け引き続き多職種との協業を進め、学生会員規程の整備や学校との連携を強化する、④法人運営へ向け規約委員会と事務局を統合し、協会=士会員への準備を進め、効率化を図ることについて説明がなされた。

令和6年度当初予算

- ・ 財務部長吉井氏より当初予算案について予算書に沿って報告がなされた。

➡質疑応答

- ・ 令和6年度事業計画について質疑・意見なし。
- ・ 当初予算案について質疑・意見なし。

災害対策基本指針について

- ・ 規約委員会担当理事 山倉氏より大規模災害が発生時の災害対策基本指針を定めたことが伝えられ資料に沿って説明。

災害時会場費免除規程

- ・ 山倉氏より続けて、被災した会員への支援を目的に災害時会場費免除規程を定めたことが伝えられ、

記載された資料に沿って説明。

#### →質疑応答

- ・災害対策基本指針及び災害時会場費免除規程について質疑・意見なし。

#### 会務運営規程・選挙管理規程・倫理規程

- ・規約委員会担当理事兼倫理委員会担当理事山倉氏より会務運営規程、選挙管理規程、倫理規程の内容変更の説明がなされた。

#### →質疑応答

- ・会務運営規程、選挙管理規程、倫理規程の変更について質疑・意見なし。

### 3. 決議事項

#### 第1号議案：令和5年度事業報告及び決算報告

##### 令和5年度事業報告

- ・会長 四方氏より議案書に沿って令和5年度事業報告の説明がなされた。昨年度は①学術的發展へ向けWEB活用、受講料の無償化、学会の親子参加実施等により、会員の学ぶ機会の増大に繋がった、②有効活用へ向け地域包括ケアシステム構築に向け派遣事業を進めた、③普及へ向け多職種との協議会を定期的に開催・参加し、能登半島沖地震の際はJRATを多職種と共に派遣した、④法人運営へ向け協会員＝士会員推進のため、定款や規程を見直し、また、役員が倫理の勉強会に出席したことが報告された。

##### 令和5年度決算報告

- ・財務部長吉井氏より令和5年度決算について議案書に沿って説明がなされた。
- ・新潟県作業療法士会は、公益社団法人として財務上、①収支相償を満たしたこと、②公益目的事業費比率が50%以上となること、③保有する現金預金額が公益目的事業費を超えないこと、以上3つの基準を全て満たし、新潟県へ報告したことが説明された。

##### 監査報告

- ・監事横田氏より監査報告書に沿って報告。

#### →質疑応答

- ・令和5年度事業報告について質疑・意見を求めたところ、晴陵リハビリテーション学院本間亜以子氏から県士会主催の勉強会の周知方法についてLINEが使用されているが、他団体の勉強

会は載らない。情報が得られにくいと考える。COVID-19の中で卒業した作業療法士や経験の浅い方にとって研修は大切で、周知の方法もLINEは適している。県士会主催以外の勉強会についてもLINEを活用できないか、との意見あり。→会長四方氏より予算の都合上、LINE配信できる総数が決まっており難しい。メーリングリストの活用等も検討しているところである、と返答。

- ・令和5年度決算報告について質疑・意見なし。

#### →承認決議

- ・第1号議案：事業報告、決算報告は会場出席者とWEB出席者双方合わせたハイブリッド方式での承認決議を経て、全会一致にて承認された。

#### 第2号議案：新潟県作業療法士会 定款改定

##### 新潟県作業療法士会 定款改定

- ・会長四方氏より公益社団法人新潟県作業療法士会としては初めて定款が改定することが伝えられた。その理由として、協会員＝士会員を進めていくために、学生会員の規程を新しく設けることについて説明があり、理解を求められた。続いて、規約委員会担当理事山倉氏及び総会議事運営担当理事山中氏より定款改定の詳細及び改定の必要性について、議案書に沿って説明があった。

#### →質疑応答

- ・新潟県作業療法士会定款改定について質疑・意見なし。

#### →承認決議

- ・第2号議案：定款改定は会場出席者とWEB出席者双方合わせたハイブリット方式での承認決議を経て、全会一致にて承認された。

#### 第3号議案：会費納入規程改定

##### 会費納入規程改定

- ・規約委員会担当理事山倉氏より定款の改定に合わせて、会費納入規程を改定し、学生会員を追加することについて、議案書に沿って説明がなされた。

#### →質疑応答

- ・会費納入規程改定について質疑・意見なし。

#### →承認決議

- ・第3号議案：会費納入規程改定は会場出席者とWEB出席者双方合わせたハイブリット方式での承認決議を経て、全会一致にて承認された。

第4号議案：役員報酬等及び費用に関する規程改定

役員報酬等及び費用に関する規程改定

- ・規約委員会担当理事山倉氏より役員報酬等及び費用について、定款の改定に合わせて規程が変更となることについて議案書に沿って説明がなされた。

➔質疑応答

- ・役員報酬等及び費用に関する規程について質疑・意見なし。

➔承認決議

- ・第4号議案：役員報酬等及び費用に関する規程改定は会場出席者とWEB出席者双方合わせたハイブリット方式での承認決議を経て、全会一致にて承認された。

第5号議案：役員改選

役員改選

- ・選挙管理担当理事 山中智恵氏より役員改選について説明がなされ、士会理事は無投票当選となったことが伝えられた。

➔質疑応答

- ・役員改選について質疑・意見なし。

➔承認決議

- ・第5号議案：役員改選は会場出席者とWEB出席者双方合わせたハイブリット方式での承認決議を経て、全会一致にて承認された。

➔役員挨拶

- ・退任する理事・監事及び新任理事・監事よりそれぞれ挨拶が行われた。

第6号議案：その他

- ・総会議事運営委員会より参加者に対し、他審議項目について募ったところ、特には挙がらなかった。

以上を持ってすべての審議が終了し、議長 四方秀人氏が議長として総会終了の挨拶を述べ、議長の解任を行った。

総会議事運営委員長 佐藤修司氏が令和6年6月16日12時09分に閉会を宣言した。



SAKAimed

急性期からの＊  
ハンドセラピーを  
お手伝いします。

＊ スプリント ＊

酒井医療株式会社  
新潟営業所  
Tel:025-278-4777  
www.sakaimed.co.jp

介護用品、レンタル・販売  
リハビリ機器、医療機器販売

(株)いわしや  
悠久堂医科器械店

本 社 TEL 0258-47-1848  
新潟営業所 TEL 025-284-6866

各種車椅子・座位保持装置・ベッド  
・コミュニケーションエイド・福祉機器  
・介護用品・介護保険レンタル・住宅改修

(株) G・T・B  
(オーエックス新越)

〒956-0017  
新潟県新潟市秋葉区あおば通2丁目28-27  
TEL 0250-25-2626 FAX 0250-25-7710  
<https://www.gtb-niigata.jp/>

義肢・装具・介護レンタル  
ご相談ご用命は弊社にお任せ下さい。

社団法人 日本義肢協会登録・中部125号

 (株)田村義肢製作所

〒950-1151 新潟市中央区湖南21番地11  
TEL 025 281-0303  
FAX 025 281-0339

LUNA CAST

ルナキャスト<sup>®</sup>  
熱可塑性ギブス包帯

硬化後も再成形できる！  
手軽で便利な現場の味方

- 70℃以上のお湯で軟化し、素手で使用可能
- 硬化後の補強も簡単
- フィット性に優れている

やさしい目で健康を見つめる...  
イワツキ株式会社

新潟県作業療法士会事務局

〒950-0872  
新潟市東区牡丹山3丁目1番11号 三森ビル301号  
<TEL> 025-279-2083 <FAX> 025-384-0018  
<E-mail> ot-niigata.toki4721@helen.ocn.ne.jp

No.25 2024年 7月25日発行

発行責任者：四 方 秀 人  
編集責任者：尾 崎 生  
発 行：公益社団法人新潟県作業療法士会広報部  
〒950-0983 新潟市中央区神道寺2-5-1  
総合リハビリテーションみどり病院  
印 刷：株式会社タカヨシ

## 南魚沼市民病院

# 作業療法士 募集

当院では『地域住民の「生きる」を支え続ける』を理念とし、チーム医療を展開しています。その中の取り組みの一つとして回復期リハビリテーション病棟を開設しました。

その人らしい生活を送れるようスタッフ一丸となって支援を行い、[作業療法士](#)もその一翼を担っています。

- 急性期病棟
- 回復期リハビリテーション病棟
- 地域包括ケア病床
- 外来リハビリテーション
- 訪問リハビリテーション
- 通所リハビリテーション

New

回復期以外にも・・・  
これらの現場で急性期から生活期まで幅広く関わることができ、やりがいを持ってキャリアアップを目指せます。

少しでも興味を持たれた方は、お気軽にお問合せください。

詳細は、当院ウェブサイトをご覧ください。

問合せ先 南魚沼市民病院 庶務課

Tel 025-788-1222



地域医療に関心のある方！  
南魚沼市民病院で働きませんか！！

